



「志」つなぎ 伝える  
二百年



西形准教授が有機合成化学協会九州山口支部の優秀論文賞を受賞	1
上條准教授がThieme Chemistry Journal Award 2015を受賞	1
平成26年度九州工業大学と山口大学のテニュアトラック合同シンポジウムを開催	2
学長・理事とテニュアトラック教員との懇談会を開催	3
高野准教授が「研究サロン」で話題提供	4
テニュアトラックのホームページを全面リニューアル	4

第5号 2015年3月

## 西形准教授が有機合成化学協会九州山口支部の優秀論文賞を受賞

大学院理工学研究科物質工学系学域准教授（テニュアトラック）西形孝司先生が、インパクトファクターの高い国際雑誌に掲載された研究業績に対して贈られる有機合成化学協会九州山口支部の優秀論文賞を受賞し、2014年11月17日に宇部興産株式会社（宇部市）で開催された第2回有機合成化学講演会において表彰されました。

今回の受賞は、応用化学系最高峰の雑誌である J. Am. Chem. Soc. 誌 (IF=11.44) に2013年に発表した「An Efficient Generation of a Functionalized Tertiary-Alkyl Radical for Copper-catalyzed Tertiary-Alkylative Mizoroki-Heck type Reaction」の業績が認められたものです。（論文掲載については2014年3月発行の本ニュースレター第3号で既報）

受賞対象となった研究内容は、有機合成化学において難題の一つである3級ア

ルキル基の末端アルケンへの導入を銅触媒によるラジカル反応により解決したものであり、医薬品や天然物をはじめとする様々な有用物質の効率的合成への応用が期待されます。



受賞の盾を持つ西形准教授（向かって右）  
左は宮田博之有機合成化学協会九州山口支部長

## 上條准教授が Thieme Chemistry Journal Award 2015 を受賞

大学院理工学研究科（理学）環境共生化学分野准教授（テニュアトラック）の上條真先生が Thieme Chemistry Journal Award 2015 を受賞しました。この賞は、Thieme 社（ティーム社、ドイツ）が出版している化学誌 Synthesis, Synlett, Synfacts の編集者により、毎年、有機化学分野の有望な若手研究者を選出し表彰する国際賞です。12月初旬、上條先生宛てに、Synthesis 誌の編集長である Paul Knochel 教授（ルートヴィヒ・マクシミリアン

大学ミュンヘン校）から受賞を知らせる手紙が届きました。

上條先生は、通常の条件では変換が極めて難しい飽和炭素-水素 (sp<sup>3</sup> C-H) 結合の選択的な切断と官能基化を実現する新しい手法を創出する研究をしています。上條先生は、今回の受賞を励みとし、分子レベルでの物質生産法に革新をもたらすことで、最終的にエネルギー問題・資源問題・環境問題の解決を目指したいと語っておられます。



## 平成 26 年度九州工業大学と山口大学のテニュアトラック合同シンポジウムを開催

平成 27 年 1 月 20 日（火）、九州工業大学戸畑キャンパス百周年中村記念館において、「平成 26 年度九州工業大学と山口大学のテニュアトラック合同シンポジウム」を開催し、他大学からの出席者を含め約 60 名が参加しました。

山口大学三池理事・副学長による開会挨拶の後、来賓の文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室長の和田勝行氏からご挨拶をいただきました。その後、科学技術振興機構の科学技術システム改革事業プログラム主管（プログラムオフィサー）である水林博氏から「テニュアトラック普及・定着事業の目指すところ ―若手研究者には自立チャンスを、機関には優れた若手人材獲得チャンネルを―」と題して基調講演をいただきました。

テニュアトラック教員の講演では、まず山口大学から招待講演の形で、大学院理工学研究科（工学）の福士将准教授、大学院理工学研究科（工学）の西形孝司准教授、農学部の佐合悠貴助教の 3 名が各々の研究内容や研究室の様子を紹介しました。続いて、九州工業大学から若手研究者フロンティア研究アカデミーの金子大作准教授と城崎由紀准教授が同じく研究内容や研究室の様子を紹介しました。

「テニュアトラック制度について」をテーマとしたパネルディスカッションでは、モデレータとして九州工業大学若手研究者フロンティア研究アカデミーの川原知洋准教授及び講演を行った 5 名のテニュアトラック教員がパネリストとして登壇し、活発な議論が行われました。話題は、自分がこの進路を選んだ理由、研究上の苦勞、学生の研究テーマの決め方、学生及び院生の研



パネルディスカッションの様子

究室における生活指導、研究マンパワー等、研究の進め方に関することはもちろん、一般教員との接し方、博士後期課程に学生が進学しない理由、テニュアトラック制度による研究成果の全国的なアピール方法など、教員生活の全般にわたるものとなりました。会場のテニュアトラック教員である、九州工業大学若手研究者フロンティア研究アカデミーの福岡准教授、山口大学共同獣医学部の高野准教授から意見や質問が出る場面や、和田室長、科学技術振興機構主任調査員の福田宜弘氏に質問を投げかける場面があるなど、活発な意見交換が行われました。

閉会の挨拶は、九州工業大学鹿毛理事・副学長により行われました。また、会場には九州工業大学の松永学長も駆けつけられ、シンポジウム終了後の情報交換会でご挨拶をいただきました。

九州工業大学と山口大学は、今後もテニュアトラック教員間の連携を深め、情報を共有し、刺激し合うことで、より良い研究のための足掛かりとなる活動を企画・実施します。



出席者の集合写真



## 学長・理事とテニュアトラック教員との懇談会を開催

平成26年12月17日(水)、吉田キャンパス事務局2号館の特別小会議室にて、学長・理事とテニュアトラック教員との懇談会を開催しました。懇談会には岡正朗学長をはじめ理事4名と、テニュアトラック教員8名が参加しました。

冒頭に、岡学長から「大学は教育と研究が両輪となっている。今後も皆さんが研究しやすいように重点支援を行いたいと考えている。皆さんが活躍し、山口大学ですばらしい研究をされることを強く期待している。」と挨拶があり、次に、

テニュアトラック教員による自己紹介・研究内容の説明がありました。その後、学長から、大学にはイノベーション、グローバル化、地域貢献など大きな期待が寄せられているという説明があり、地域貢献を切り口にして意見交換が行われました。話題は、植物工場と農業の担い手・新しい治療法・ベンチャー企業・知的財産・尖がった研究など多岐にわたり、テニュアトラッ



懇談会の様子

ク教員からは有用なアイデアが複数出たり、時折談笑する場面が見られるなど、終始和やかな雰囲気で行われました。

この懇談会を通じて、学長・理事においては今後の大学の機能強化を図るうえで、若手研究者からの意見を聞ける良い機会となり、また、テニュアトラック教員にとっては、直接大学執行部と意見交換できる場となり、大変有意義な時間となりました。



出席者の集合写真

前列左端から、樋山准教授(理工学研究科(工学))、西形准教授(理工学研究科(工学))、福士准教授(理工学研究科(工学))、岡学長、佐古田助教(医学系研究科)、上條准教授(理工学研究科(理学))、高野准教授(共同獣医学部)  
後列左端から、藤井 URA、額瀬理事、田中理事、佐合助教(農学部)、山本助教(医学系研究科)、古賀理事、吉岡理事、重本学術研究部長



## 高野准教授が「研究サロン」で話題提供

平成26年9月26日(金)、山口大学総合図書館内の「りふカフェスペース」にて、第3回研究サロンが開催され、話題提供者の一人として、共同獣医学部病態制御学講座准教授(テニュアトラック)高野愛先生が講演されました。

山口大学では、平成23年度から研究に関するアイデア等を発想するキッカケを見つけることを意識する期間として科学研究週間を開設しています。今年度からは山口大学の研究力をさらに高めるため、「科学研究月間」として更にこの期間を広げ、積極的にキッカケづくりを行うために研究サロンという場を設けました。

研究サロンでは、様々な分野の研究者が集まり交流すること

により、部局・分野を超えた研究の融合の可能性を探索する「場」となることが期待されています。

この日は第3回目の研究サロンであり、参加者は学生・研究員・若手教員を含め約30名でした。高野先生は「マダニ媒介性感染症を知る」と題して、マダニ媒介性感染症はもちろんマダニ研究で苦勞されている点も含めて、一般にも分かり易い広範囲な話題について講演されました。質疑応答では、感染症の実情、ダニの生態や天敵に関すること、免疫に関すること、回歸熱病の周期に関することなど多種多様な質問が出て、熱い議論が講演後の自由懇談の時間まで続きました。



講演中の高野准教授

## テニュアトラックのホームページを全面リニューアル

平成26年12月22日(月)をもって、山口大学のテニュアトラックのホームページ(URLは末尾の欄内)を全面リニューアルいたしました。従来よりも研究内容や研究成果の閲覧がし

やすくなりました。今後も、研究成果のより分かり易い情報発信につとめてまいります。

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 テニュアトラック普及・定着事業

編集・発行

国立大学法人山口大学 大学研究推進機構研究推進戦略部 URA室テニュアトラック担当

〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1 山口大学吉田キャンパス共通教育棟本館2階

Tel 083-933-5255

E-mail [tenure@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:tenure@yamaguchi-u.ac.jp)

URL <http://www.tenure.jimu.yamaguchi-u.ac.jp/>